

指導検査業務システム（SDX）区市町村共同利用の検討報告書（概要）

1 背景・目的等

- 区市町村の指導検査でもSDXを利用することで、職員の生産性向上、業務効率の向上及び事業者に対する利便性の向上を期待し、検討を開始 (p. 4)
- 区市町村が東京都と連携してSDXを導入することで、都や区市町村間において事業者情報の共有を容易にし、指導検査における都や区市町村間の連携強化につながり、都内全域における指導検査の効率化や効果的な実施も期待 (p. 4)

2 区市町村共同利用の進め方

- 共同利用の対象は利用希望のある区市町村とし、複数年度にかけて徐々に利用を推進 (p. 10)
- 共同利用の方法は、当面、区市町村による新規システム構築部分のない「共同利用」とし、令和8年度に区市町村のSDX本格利用の開始を目指し、令和7年度にシステム機能改修及びテスト運用を実施 (p. 11, 13)
- 東京都が運営主体となり、ベンダーと契約し運用・保守 (p. 15)
- 共同利用に際し、都と区市町村が協定締結 (p. 15, 16)
- 効率的・効果的な指導検査のため、データ共有環境を整備 (p. 22)
- 共同利用に向け、今後整理が必要な事項を整理 (p. 24)

区市町村にて行う利用準備スケジュール

(p. 19)

【令和 N 年度に利用開始する場合】

	令和 N-1 年度	令和 N 年度
内部調整	<ul style="list-style-type: none"> 予算要求・システム導入申請等 必要に応じ業務の見直し 必要に応じ要綱等の見直し 	
事業者周知		<ul style="list-style-type: none"> 事業者への周知 事業者情報の収集
システム導入準備		<ul style="list-style-type: none"> 事業者ユーザー発行 職員ユーザーのデータ準備 データ投入 端末等の準備
SDX習熟		<ul style="list-style-type: none"> 職員研修

利用準備が完了次第
順次業務利用

今後の整理事項

- 共同利用の詳細ルールの作成検討
- 共同利用にかかる費用負担の整理
- 利用に伴う補助の有無
- 都と区市町村間の協定・規約内容の整理 など

3 今後の展望

- 区市町村が実施する指導検査においてもSDXを活用することで、東京都全体の指導検査について効果的に実施できることを目指し、社会福祉施設等の適正な運営及びサービスの質の確保を図ることで、利用者サービスを向上 (p. 26)

区市町村との共同利用により目指す姿

- 区市町村の事務の効率化及び事業者の利便性の向上
- 都と区市町村間の速やかな情報共有等による指導検査の連携強化
- 蓄積される関連データの活用・分析等による区市町村指導検査の支援、都及び区市町村双方での効果的な指導検査等の実施

(参考) 指導検査業務システム (SDX) に関する区市町村共同利用の検討について

取組概要

- 社会福祉施設等に対する指導検査業務システム (SDX) の活用による区市町村の指導検査業務の改善や事業者負担の軽減を支援するため、区市町村でSDXを活用するための機能構築、運用スキーム・ルールやロードマップ等を検討し、区市町村においてSDX導入を検討する際に活用可能な資料として、令和6年度における検討内容をまとめた報告書を作成

検討の体制・スケジュール

- 区市町村指導検査担当職員等で構成する委員会等において聴取した区市町村が抱える課題やSDXに求めるニーズ等とともに、全ての区市町村を対象に実施したアンケートを基に検討

【指導検査業務システム区市町村連携検討委員会・専門部会】

		委員会	専門部会
外部委員		株式会社インフォシティ 一般財団法人GovTech東京	
東京都		福祉局指導監査部 デジタルサービス局	
区市町村		(課長級)	(課長代理級)
区(児童・高齢・障害の各分野)		豊島区・葛飾区・葛飾区	
市(児童・高齢・障害の各分野)		福生市・八王子市・青梅市	
町村		瑞穂町	

【検討スケジュール】

- 6月20日 第1回委員会・専門部会
- 6月 全区市町村アンケート①
- 8月中旬 ヒアリング(6自治体)
- 11月1日 第2回専門部会
- 11月 全区市町村アンケート②
- 2月3日 第2回委員会・第3回専門部会

区市町村の意向・意見

- 利用希望
 - ・ 57% (122件/213件) がSDXの利用を希望しており、令和8年度からの利用を希望する回答は全体の約12% (25件/213件)
- 利用への期待
 - ・ 業務の効率化を通じて、職員・事業者双方の業務負担を軽減
 - ・ 紙媒体の資料削減やポータルを通じた書類提出等の業務の実施等により、業務をデジタル化/オンライン化
 - ・ 東京都や他区市町村との情報共有により、業務の均一化を実現
- 利用に係る要望
 - ・ 他区市町村の利用状況、機能の詳細、導入・維持コスト等の検討に必要な情報の提供
 - ・ テスト運用の実施時期や期間を調整する等、区市町村に対して広くSDXの使用体験機会を提供
 - ・ 研修・マニュアル提供等のサポートにより、職員・事業者双方のシステム習熟を支援
- 利用に対する懸念
 - ・ 予算要求やシステム・セキュリティ部門等との調整といった、システム導入に関する内部調整に時間や労力を要する可能性
 - ・ システム導入準備の作業内容や作業量がわからず、人員・時間を要する可能性
 - ・ テスト運用や本番運用において、事業者からの理解・協力が得られるかが不明